

No.27	事業名	交通の安全確保対策（歩道切下げ、防護柵・カーブミラー等）	補正 予算額	39,500 千円
-------	-----	------------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

近年、高齢者等による事故が多発しており、一層の安全対策が求められている。歩道の段差解消やロードミラー、防護柵等の設置により、安全で安心な人にやさしい道づくりを図る。

2 事業概要

(1) 内 容

- ・ロードミラー設置 14基
- ・歩道切下げ 20箇所
- ・防護柵設置 1,100m
- ・案内標識板改築（案内先名称変更） 8基

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

C=39,500千円

No.28	事業名	橋りょう維持事業 (長寿命化補修工事)	補正 予算額	32,000 千円
-------	-----	------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

橋梁長寿命化修繕計画策定に伴い、橋梁点検にて発見した損傷の著しい橋梁について、橋梁の延命化を図るため予防的な補修工事を実施し、効率的・効果的な維持管理を進める。

2 事業概要

(1) 内 容

3 橋

豊岡：木内上橋支承補修（市道木内幹線）

豊岡：梶原小橋伸縮補修（市道梶原中道線）

竹野：竹野橋支承補修（市道上町切浜線）

設計委託費 1 式

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- ・ 支承補修は、橋台が橋桁(はしげた)を受けている部分を交換する。
- ・ 伸縮補修は、橋台と橋げたの伸び縮みを吸収する継ぎ手部分を交換する。

No.29	事業名 コミュニティバスの更新 (コバス・イナカー)	補正 予算額	30,100 千円
-------	----------------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

車などの移動手段を持たない市民や高齢者など交通弱者の通勤、通学、通院及び買い物など、日常生活に必要な移動手段を確保するため、コミュニティバス（市街地循環バス「コバス」・市営バス「イナカー」）を運行している。

利用者の利便性・快適性を高めるとともに、コミュニティバスの利用促進・利用拡大を図るため、バス車両の更新を行う。

2 事業概要

(1) 内 容

- ・市街地循環バス「コバス」車両購入 1台（25人乗り）
（Aルート of 車両を更新 車両ラッピング予定）
- ・市営バス「イナカー」車両購入 1台（29人乗り、障害者用リフト付）
（竹野南線の車両を更新）

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年度

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

30,100千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- (1) 市街地循環バス「コバス」については、Bルートのみ低床型（ノンステップ）車両を運行しており、Aルートについても利用者からの要望の高い、低床型（ノンステップ）の車両を導入する。

誰もが利用しやすい車両にすることで利用促進を図るとともに、車両にラッピングを施すことにより、観光客等の利用拡大を図る。

- (2) 市営バス「イナカー」については、竹野南線で使用している車両は老朽化が著しいため、車両を更新し利用者の利便性・快適性向上を図る。

No.30 事業名 コウノトリの郷駅駅舎改修	補正 予算額	6,000 千円
------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

昭和5年建築の現駅舎は、宮津線沿線に現存する唯一の国鉄時代のものであり、目立った造形は無いが素朴で味わい深い木造駅舎である。現在は使われていない駅事務室や休憩室を改修し、ギャラリーや交流サロンとして利用することにより、愛称命名、公衆トイレ整備との相乗効果の派生を図り、「コウノトリの郷駅」の駅名にふさわしい市民と観光客の交流拠点として整備する。

2 事業概要

(1) 内 容

- ・屋根改修工事
- ・外装改修工事
- ・展示ルーム内装改修工事
- ・休憩室（和室）改修工事

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

6,000千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

北近畿タンゴ鉄道の但馬三江駅については、コウノトリ郷公園の最寄り駅として認知度を高めつつ鉄道利用の促進を図るため、愛称「コウノトリの郷駅」と命名した。

また、今年度鉄道利用者はもとより観光客等の利便性・快適性の向上を図るため駅前に公衆トイレ（予算8,000千円）を整備（まちづくり交付金事業）する予定である。

No.31 事業名 出石城お堀の整備	補正 予算額	11,000 千円
--------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

出石城跡の内堀周辺は、平成19年2月に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、堀と築山は環境物件に指定されている。

内堀周辺は出石城跡、辰鼓楼とともに観光の重要な施設であり、多くの観光客が散策しているが、堀にはへドロや土砂、流木が堆積して水位が浅くなっている。

特に夏季にはさらに水量が少なくなり魚類の生息に危機感と水質の悪化を招き、悪臭や死んだ魚が漂いイメージダウンとなっている。また、堀周辺の石垣に立木根が影響して放置すれば石垣崩壊の恐れがあるため、周囲の環境を勘案しながら伝統的町並みに調和するよう保全・修復する。

2 事業概要

(1) 内容

へドロ、土砂の浚渫工事 $V=500 \text{ m}^3$

立木伐採 $A=100 \text{ m}^2$ 石垣修復工事 $A=50 \text{ m}^2$

(2) 事業期間

平成21年9月から12月（4ヶ月間）

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

21年 7月～9月 設計・入札

10月 工事着手

12月 工事完了

No.32	事業名 豊岡竹野かな書碑街道づくり	補正 予算額	1,500 千円
-------	-------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

仲田光成記念豊岡竹野全国かな書展事業を開催していく中で、市民や豊岡市を訪れた方にかな書に親しんでもらいたいとの願いから、幹線道路沿いに歌碑を建立し、書碑巡りができる「街道」整備を進める活動が、平成19年度から市民やあきつ会の方々の協賛によって行われ、既に7基のかな書碑が建立された。

今後も、日本の伝統文化である書道を通して豊岡市の地域文化・教育の高揚と心豊かな地域づくりを進めるため、豊岡竹野全国かな書展の開催とともに、市民の主体的な取り組みである「豊岡竹野かな書碑街道づくり事業」に側面的な支援を行う。

2 事業概要

(1) 内容

秋篠宮同妃両殿下には、平成17年9月にコウノトリの郷公園で開かれたコウノトリ放鳥式典に御臨席された。翌平成18年の歌会始の儀では、両殿下がそろってコウノトリのお歌を詠まれ、その年に親王殿下が御誕生になるという豊岡市として大変喜ばしい出来事があった。

本年度、豊岡竹野かな書碑街道づくり事業として、そのお歌の碑をコウノトリの郷公園に建立することを計画し、本年10月開催予定のコウノトリの郷公園開園10周年記念式典の関連事業として歌碑除幕式を開催することを計画している。

揮毫はあきつ会会長米本一幸氏の手で既に完成。県との協議も整っている。現在、宮内庁に歌碑建立の承認申請中である。

皇室とゆかりのある仲田光成氏の縁によって、豊岡市が進めるコウノトリ野生復帰への取り組みと竹野地域で進めるかな書文化の振興への取り組みが連携した事業として補助金を交付する。

(2) 事業期間

平成21年6月下旬～ お歌碑作成、協賛金募集
平成21年10月上旬 お歌碑除幕式
(兵庫県立コウノトリの郷公園開園10周年記念式典の前日)

(3) 事業主体

豊岡市、豊岡竹野かな書碑街道づくり実行委員会

(4) 今後のスケジュール

- ① 6月下旬に実行委員会から正式に公表
- ② 10月上旬(コウノトリの郷公園開園10周年記念式典の前日)に除幕式を開催予定

(5) 全体事業費(補助率・負担率等)

300万円(歌碑建立工事、除幕式典等) (市補助金:150万円 補助率1/2)

3 その他参考事項(事業内容の詳細等)

碑の規模、材質等 全体(幅:3.6m、高さ:2.4m、奥行き:1.5m)

① 石材の種類・・・天山石(お歌碑、説明碑)

② 形・大きさ・・・お歌碑(幅:2.0m、高さ:2.0m、奥行き:0.6m)

説明碑(幅:0.7m、高さ:0.7m、奥行き:0.3m)

No.33 事業名 緊急雇用創出事業	補正 予算額	19,704 千円
--------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

本市における現下の雇用失業情勢の悪化に対し、さらなる雇用の受け皿を確保する必要があることから、事業の拡充により、失業者の一時的な雇用就業機会の創出を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

雇用期間は原則6ヶ月未満とし、離職を余儀なくされた非正規労働者及び中高年齢者等に対して、臨時的・一時的なつなぎ就業の機会を提供する取り組みを、市が直接実施又は民間企業等に委託する。子育て、教育分野は更新により実質1年間。

(2) 事業期間

平成21年度から平成23年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

(直接実施事業) 7月には、市広報及びハローワーク等を通じて臨時職員募集を行う。

(委託実施事業) 7月には、委託業者を決定し、ハローワーク等を通じて募集を行う。

(5) 全体事業費(補助率・負担率等)

99,400千円(県10/10)

平成21年度:19,704千円 平成22年度:36,172千円 平成23年度:43,524千円

3 その他参考事項(事業内容の詳細等)

①大型観光キャンペーン支援事業(委託実施事業 ※雇用期間延長)

現在実施している、城崎～出石周遊バス運転員補助1名を延長する。

②林道環境整備事業(委託実施事業)

市内主要林道の草刈り及び側溝清掃を行い、林道の環境美化と安全確保を図る。

新規雇用者:7名、雇用期間:2ヶ月

③中学校不登校対策事業(直接実施事業)

不登校生徒が多く在籍する中学校に指導補助教員を配置し、個別の指導にあたる。

新規雇用者:8名、雇用期間:平成21年度末まで ※要教員資格免許

④育児不安等相談事業(直接実施事業)

子育て総合センター内の「ふれあい広場」に子育て支援員を配置し、利用者の育児相談を行うとともに、施設の利用しやすい雰囲気づくりを図る。

新規雇用者:1名、雇用期間:平成21年度末まで ※要保育士等資格免許

○新規雇用者計:16名 (内訳 直接実施事業:9名 委託実施事業:7名)

No.34	事業名	e通勤プロジェクトの実施(市内事業所へのe通勤の普及促進)	補正 予算額	12,500 千円
-------	-----	-------------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

バス・鉄道の利用を促し、地域公共交通を次代に残すため、市内の事業所が協働して公共交通を利用した通勤実験を実施する。

2 事業概要

(1) 内 容

① 啓発キャンペーン事業

- ・ 啓発冊子の発行 等

② 取組み支援事業

- ・ e通勤推進助成金

公共交通機関を利用した通勤等による経費の軽減を図るため、定期代等の1/3の助成を行う。

- ・ e通勤バスの運行

参加する事業所へ通勤バスを運行する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市（仮称：豊岡市e通勤推進協議会）

(4) 今後のスケジュール

- ・ 民間事業所との協議調整
- ・ e通勤プロジェクト（社会実験）の実施 … 10月～3月

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

12,500千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

市役所も1事業所として、4月からモニターを募集し先行実施している。10月からは全職員を対象として本格実施する予定である。

No.35	事業名 小中学校耐震化の早期推進	補正 予算額	608,295 千円
-------	------------------	-----------	------------

1 事業目的、趣旨等

学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習、生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての重要な役割を担っており、地震に対する安全性を確保することが喫緊の課題である。本市学校施設整備計画に基づき、学校施設の耐震化を推進し、安全・安心な学校づくりを図るものである。

2 事業概要

(1) 内 容

豊岡市学校施設整備計画（平成19年3月30日策定）に基づき、昭和56年以前に建築された20校56棟の耐震化を図るとともに老朽化した施設の改修を行う。

(2) 事業期間

平成19年度から概ね10年間

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

耐震診断実施済または実施中の建物の中で、危険な建物（特にIs値0.3未満）から耐震化を進める。

また、既に事業着手している豊岡北中、竹野小の耐震化事業完了を目指す。

(5) 全体事業費

【対象56棟 約37億円（小・中学校）】

（単位：千円）

項目/年度	20年度迄	21当初	21補正	22以降	合 計
耐震化棟数	3棟	7棟	7棟	39棟	56棟
事業費	302,602	517,600	608,295	2,271,503	3,700,000

※20年度迄欄の耐震化棟数3棟の内2棟は耐震診断により耐震性が確認された。

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

五荘小管理棟耐震補強・改修工事/同実施設計業務 1式

五荘小体育館耐震補強・改修工事/同実施設計業務 1式

竹野小管理棟耐震補強・改修工事 1式

静修小特別支援・特別教室棟建替え工事 1式

豊岡北中特別支援・特別教室棟耐震補強・改修工事 1式

豊岡北中技術棟耐震補強・改修工事 1式

豊岡北中体育館耐震補強・改修工事 1式

委託料 29,900 千円 工事費 578,395 千円

No.36	事業名 子育て応援特別手当の拡大	補正 予算額	84,231 千円
-------	------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

国の経済危機対策における「成長戦略—未来への投資」健康長寿・子育て、子育て・教育支援として、現下の不況下で、全体の個人所得が減少しつつあることに鑑み、臨時異例の措置である子育て応援特別手当（3歳から5歳までの児童一人あたり3.6万円）を、平成21年度に限り、第一子まで拡大して実施する。

2 事業概要

(1) 内 容

- ・支給対象となる子：平成21年度において小学校就学前3年間に属する子、すなわち、平成15年4月2日から平成18年4月1日までの間の生まれ（平成21年3月末において3～5歳の子）の子ども
- ・支給額：支給対象となる子ども一人につき3.6万円（一回払い）
- ・支給先：支給対象となる子の属する世帯の世帯主
- ・支給対象者の決定に係る基準日：平成21年10月1日の方向で国で検討中
- ・支給方法：原則として口座振込

(2) 事業期間

子育て応援特別手当の申請期限は、給付申請受付開始から6か月

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

- ・申請受付開始等のスケジュールについては、国による支給基準日の決定等を受けて検討する。

(5) 全体事業費

84,231千円	国	10/10
内訳	平成21年度事業分	82,791千円
	平成20年度事業分	1,440千円（21年度交付決定分）

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

6月1日現在 対象児見込数 2,234人

No.37	事業名	小中学校・幼稚園・公民館 ICT 環境の整備	補正 予算額	276,703 千円
-------	-----	---------------------------	-----------	------------

1 事業目的、趣旨等

子どもの学力・ICT(情報通信技術)活用能力の向上と、教員の校務の効率化のため、幼稚園・小中学校の機器整備を行う。

また、地域の学習ニーズに対応するため、公民館の機器整備を行う。

2 事業概要

(1) 内 容

幼稚園(27園)、小学校(30校)、中学校(10校)、公民館(23館)のテレビを地上デジタル放送に対応したテレビに買い換え、あわせて周辺機器の導入とアンテナ改修をおこなう。

また、小学校、中学校に電子黒板を購入設置し教科指導に活用するとともに、老朽化の進んだ教育用コンピュータや校務用コンピュータの買換えを行う。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

設置場所等の調査や機種選定を行い、年度内に購入

(5) 全体事業費

276,703千円

3 その他参考事項(事業内容の詳細等)

地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用する。

幼稚園 8,925 千円 小学校 225,600 千円 中学校 33,518 千円 公民館 8,660 千円

	デジタルテレビ	電子黒板	教育用コンピュータ	校務用コンピュータ
幼稚園	27 台	---	---	---
小学校	60 台	30 台	789 台	399 台
中学校	19 台	10 台	66 台	59 台
公民館	23 台	---	---	---

ほか周辺機器(ブルーレイディスク、教育用サーバ等)

No.38	事業名	小中学校理科教材・中学校武道用具の整備	補正 予算額	38,000 千円
-------	-----	---------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

教育基本法の改正等を踏まえ、学習指導要領が子どもたちに生きる力を育むことを目指したものに改訂されたため、その内容に合わせて教育環境の充実を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

小中の理科教育と中学校体育で大幅に学習指導要領が改訂された。
理科教育については、指導内容が追加され、新たに必要となる教材備品を整備する。
また、中学校の体育は武道とダンスが必修となり、それに伴った用具を整備する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

備品・用品の機種選定を行い、年度内に購入する。

(5) 全体事業費

38,000千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

理科教材購入（国庫補助率1/2）

小学校 30校 24,000千円

中学校 10校 11,000千円

中学校竹刀購入

中学校 10校 竹刀 800本 3,000千円

No.39-1	事業名	子育て支援の拡充(すべての子ども・家庭への支援)	補正 予算額	27,672 千円
---------	-----	--------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

- ・「子育てが楽しいまち・子どもが元気に育つまち」を目指し、子どもと子育て家庭に対する支援の拡充を図る。
- ・平成21年度版「コウノトリ・子育て支援メッセージ」事業として推進する。

2 事業概要

(1) 内 容

① ママと一緒にすくすく！在宅子育て支援

- ・子育てセンターの備品等整備 600 千円
各子育てセンター遊具の整備（ハイハイランド、木製ままごとセット等）
おでかけ事業で利用できる遊具の整備

② 心と体 ぐんぐん元気！子どもの育み支援

- ・保育園保育環境整備 7,300 千円
公立保育所遊具等備品整備
公立保育所地上デジタル放送対応テレビの設置
私立保育所遊具等購入補助
- ・幼稚園（すくすくプログラム実践用）保育環境整備 2,700 千円
読み聞かせ用絵本購入
- ・放課後児童クラブ保育環境整備 10,000 千円
下水道接続工事（五荘第2）倉庫の整備（田鶴野、神美、福住）
エアコン整備（神美、竹野、高橋、合橋）、掃除機、万能スタンド等
地上デジタル放送対応テレビの設置
- ・幼児期の運動遊び事業推進整備 6,000 千円
屋外運動遊具の設置（設置の無い園に配置し、環境を整備する。）
登棒、雲梯、ジャングルジム、ブランコ
- ・特別支援教育の充実 1,000 千円
間仕切兼用展示版、タイムタイマー、木製ジグソーパズルの購入

③ みんなの力で！まちぐるみ子育て支援

- ・DV被害者への子育て応援特別手当相当額支給事業 72 千円

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

27,672 千円

No.39-2 事業名	子育て支援の拡充 (子育てセンター整備の促進)	補正 予算額	41,000 千円
-------------	----------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

安心・安全で、子育てが楽しく、元気に育つためのまちづくりを推進するため、「安心こども基金」を利用し、竹野地域の子育て支援の拠点施設として、現在の竹野児童館を改修し、「竹野子育てセンター」として整備する。

2 事業概要

(1) 内 容

鉄骨一部木造2階建て瓦葺き 建築延床面積 352 平方メートル
 1階 遊戯室 (96 m²)、事務室 (30 m²)、調理実習室 (20 m²)、相談室 (22 m²)、
 2階 多目的研修室 (洋室 67 m²・和室 46 m²各1室)
 その他 (廊下・階段室・便所・倉庫・階段室等 71 m²)

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

7月～8月実施設計・建築確認申請 年度内完成

(5) 全体事業費

実施設計委託料 1,000 千円
 整備工事費 40,000 千円
 事業費計 41,000 千円

なお、財源として、子育て支援のための拠点整備事業補助金 5,000 千円を充てる。

3 その他参考事項 (事業内容の詳細等)

1階に運動遊びの出来る遊戯室、屋外広場を見渡す位置に事務室、食育学習のための調理実習室、授乳室を兼ねた和室の相談室、2階に保護者のための多目的研修室を配置し、就学前の子どもと在宅保育中の保護者を対象にした子育て支援のための拠点施設を整備する。

No.40 事業名 出石永楽館狂言公演の開催	補正 予算額	2,950 千円
------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

昨年7月に甦った近畿最古の芝居小屋「永楽館」で、今回の新型インフルエンザの風評被害でさらに地域経済が落ち込んでいる中、地域の元気を取り戻すため、狂言尽くしの公演を開催する。狂言の持つ簡明で健康的なストーリー、明るくてドライな笑いにより、文化的で快活なまちづくりと、市の文化力の向上を図る。

また、市内の小学校6年生を対象に、日本の古典芸能である狂言を身近で学ぶ機会として本物の舞台芸術を鑑賞させ、子ども達に一層の理解を深めさせるとともに、新型インフルエンザでの風評被害を笑い飛ばすイベントとする。

2 事業概要

(1) 内 容

茂山千之丞ほか狂言役者による狂言鑑賞教室

- ・一般対象公演（1回公演：有料） 定員：338人／1公演
- ・子ども対象公演（2～3回公演：無料）

(2) 事業期間

平成21年9月末頃

(3) 事業主体

豊岡市・豊岡市教育委員会

(4) 今後のスケジュール

チケット前売券発売（8月中旬頃）

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

平成21年度事業費 2,950千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

茂山千之丞（しげやまさんのじょう）、1923年京都市生まれ
大蔵流狂言役者、日本能楽会会員・重要無形文化財総合指定保持者
1996年に芸術選奨文部大臣賞を受賞

No.41	事業名	小規模集落活性化モデル事業 (竹野町三原谷一川の風まつり)	補正 予算額	4,300 千円
-------	-----	----------------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

その殆どが小規模集落である竹野町河内から三原までの竹野町三原谷の7集落が連携して、河内から三原高原に至る竹野川流域の谷筋を舞台に、地域に内在する様々な魅力を食やアートを媒介として掘り起こし、その魅力を外部に発信して地域再生に努めようとしている。

内（居住者）と外（来訪者）、地域と都市、若者と高齢者の交流、協働を通して、地域の素朴な風土、文化などの魅力に地域の人々の智慧を結集し、今秋には、まちづくり拠点を中心にイベントの開催や情報の発信を進め、小規模集落の活性化を図ろうとするものである。

そこで、小規模集落活性化に向けた事業としてその地域の取組みを支援するため、地域の中心にあたる旧大森小学校を再生し、ハードとしてのまちづくり拠点、またソフトとしての情報センターとして活用できるよう必要最低限の改修を行う。

2 事業概要

(1) 内 容

地域の中心にあたる旧大森小学校の改修を行うとともに、三原谷の川の風まつりに対し支援を行う。

(2) 事業期間

7月～10月

(3) 事業主体

・旧大森小学校改修：豊岡市 川の風まつり：地域活性化協議会

(4) 今後のスケジュール

改修工事 7月～8月 イベント開催 10月の予定

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

4,300千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- ① 講堂改修（外回り引き戸改修、床ワックス仕上げ）
- ② 校舎1階改修（便所改修、炊事場改修）
- ③ 校舎2階改修（窓ガラス改修）
- ④ 電気設備（照明器具取替等）
- ⑤ 給排水衛生設備（簡易水洗便器取替等）
- ⑥ 三原谷の川の風まつり（竹野町河内～三原の7集落が連携して地域活性化協議会を立ち上げ、協同して旧大森小学校を活用してイベントを開催。（子供神楽、飯椀展、地域の映像・写真展、地元食材料理等）

No.42	事業名	行政情報化の推進 (基幹系・IP電話の冗長化等)	補正 予算額	82,600 千円
-------	-----	-----------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

現在、本庁、総合支所、各施設を結んでいる地域公共ネットワークについて、本庁、各総合支所の回線を冗長化（ループ化）することで、ネットワーク障害による行政事務の停滞を未然に防ぎ、災害時のネットワーク切断などのリスクを軽減する。

また、現在利用している庁内の情報システムについては合併時に整備したものが多く、更新時期を迎えており、性能的にも事務に支障が発生しているものもあるため、効率性、拡張性等を持ったサーバシステムの基盤構築を行う。

2 事業概要

(1) 内 容

現在、市の情報系システム（一般行政系）については、ネットワーク障害による行政事務の停滞を未然に防ぎ、災害などによるネットワークの停止のリスクを軽減するため、本庁と5総合支所との光ファイバ網について冗長化（ループ化）を行っているが、加えて、基幹系ネットワーク、IP電話システムについても同様の構成を整備する。

また、庁内の情報システムにおいて、最新の技術を利用したサーバシステムの導入により、効率性、拡張性を持ち、運用が容易で、障害に強く、消費電力の少ない基盤を構築する。

特に、現在性能的な問題から事務に支障が発生している一部情報系システムについては、大幅な増強を行うこととあわせ、セキュリティ対策を強化する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

市

(4) 今後のスケジュール

設計 8月

構築 9月～平成22年1月

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費 82,600千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- | | |
|-----------------------|----------|
| ①基幹系システム・庁内電話システムの冗長化 | 22,600千円 |
| ②行政事務システム（サーバシステム）更新 | 60,000千円 |

No.43	事業名	公共料金口座引落システムの構築	補正 予算額	2,900 千円
-------	-----	-----------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

公共料金（電気、電話、水道）の支払事務を会計課で一括処理し、事務の効率化を図ると同時に支払遅延を防ぐ。

当年度は、システム導入費用 2,900 千円が必要になるが、次年度以降は人件費、消耗品等で年間 4,000 千円の経費節減を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

公共料金（電気、電話、水道）の支払は、請求書（紙ベース）に基づき各課で支出伝票を作成しているが、請求内訳を電子データ（FD）で受け取り、会計課で一括処理できるシステムを構築する。

また、1月当たり約 1,000 枚の請求書（電気、電話、水道）について口座から一括引落しを行い事務の軽減を図る。

(2) 事業期間

平成 21 年 7 月～平成 22 年 3 月

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成 21 年 7 月 財務会計システム改修、公共料金データ変換プログラム開発
平成 21 年 11 月 水道料金の口座引落開始
平成 22 年 3 月 電気料金、電話料金の口座引落開始

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

2,900 千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

①電気、電話、水道料金の請求明細を毎月 31 日に電子データ（FD）で受取。

②担当課による請求データ確認の後、会計課で財務会計システムにより一括処理を行う。

③毎月 10 日に指定した口座から一括引落。

④担当課は毎月送付される領収書と支払結果一覧で支払金額を確認する。

※担当課は、請求データのチェックと支払結果一覧の確認のみで、支出伝票を起票する必要が無いため事務の軽減を図ることができる。